



# いっぽんぎ

今日が楽しく

明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子（知）
- おもいやりのある子（徳）
- たくましい子（体）

滝沢市立一本木小学校

令和8年1月14日

第18号 文責：亀 丸

## 三学期が始まりました

大みそかから元日にかけて多少雪が積りましたが、比較的穏やかな年の瀬でした。クリスマス、そしてお正月と子ども達は家族団らんで楽しいひと時を過ごしたのではないのでしょうか。新年あけましておめでとうございます。このまま新学期を迎えられると思っていましたが、大雪の3学期スタートになりました。

今日元気に登校する笑顔いっぱいの子ども達と再会することができ、とても温かい気持ちになりました。静まり返って寒々とした校舎に活気が戻り、気持ちを新たにしながら3学期のスタートをきることができました。大きな事故やけがもなく、楽しい冬休みを過ごすことができたこと、そして冬休みの課題等、保護者の皆様の指導と支援に感謝いたします。

3学期は45日しかない大切なまとめの学期です。その学年で学ぶことをしっかりと身に付け、次の学校・学年に進学・進級していくという意識を高める学期です。中学校へ進学する6年生、学校のリーダーを引き継ぐ5年生、そのほかの学年もどんな姿で進級するのかを思い描かせながら学校生活を送らせたいと思います。保護者の皆様、3学期もよろしくお願いいたします。

### 「みんな違ってみんないい」 ～3学期始業式の話から～

インフルエンザの感染拡大のため中止になった11月の全校朝会で話す予定だったことを話しました。（子ども達にはもっとかみ砕いた分かりやすい言葉で話しました。）

生物は群れで生活（集団で行動）することで、素早く敵に気づき身を守ったり、効率的にえさを手に入れたりすることができるといわれています。また、同じ群れで生活する生物の中には、性質や行動に多様性があるのだそうです。さらに、他の個体の行動に同調する動きをとることがあるそうです。そうすることで群れ（集団）がより強くなるのだそうです。よってそれぞれの個体が群れの中で大切な役割をもっており、大切な存在であるといえます。

みなさんも集団で学校生活を送っています。物事を素早く決め、様々なことに積極的に行動する子もいれば、迷いながらじっくりと考え結論を出してから行動する子もいます。中には、たくさんの子が賛成したことにもしっかりと反対できる子もいます。当然ですがみなさんの中にも多くの多様性があり、集団の中で同調して行動する姿が見られます。

そんな時、相手の考えをありのままに受け止め、正しいことを見極めようとしないで、「多い方が中心」とか「少ない方がおかしい」とか、「自分と違う考えはおかしい」とか間違った考えが見られることがあります。

人はそれぞれ性格も人柄も考え方も違います。できることも違えば、できないことも違います。一人ひとりがなくてはならない大切な存在であることを忘れず、相手をありのまま受け止め大切にしていってそんな3学期にしましょう。

## 「三学期の目標」

児童会書記 角掛 ゆうり

私は、三学期に入って、大きく二つのことを目標にしてがんばりたいと思います。

一つ目は、執行部の立場として、自分から気づき、行動することです。最初は、先生に言われてから気づくことが多かったけど、どんどん自分達から気づいて、行動することが増えてきました。でも、気づくのがおそくて、練習があまりできなかったり、ぎりぎりになってしまったりすることもあったので、今まで以上に、責任感を持ち、考えて行動をしたいです。

二つ目は、個人としてです。個人としては、努力を積み重ねることと、雰囲気づくりを中心に取り組んでいきたいと思っています。具体的には、授業で分からないところを、先生や友達に積極的に聞いて、何度も練習していきたいです。また、あいさつや言葉づかいをよりよいに、クラスみんなが心地よく過ごせる雰囲気づくりを意識したいです。なるべく前向きな言葉を使って、みんなでいい雰囲気を作っていきたいです。

私は、この二つの目標をもとに卒業まで全力でがんばっていききたいです。執行部の立場や、個人の立場としても、卒業までの残り時間の一日一日を大切にしていきたいと思っています。

全校のみなさんも、それぞれの学年のまとめをがんばっていきましょう。

### 引き続き感染症対策をお願いします

2学期はインフルエンザの感染拡大に伴い閉鎖する学年もありました。特にインフルエンザは感染拡大のスピードが速く、最初により患が確認されてから3日で感染がピークに達しました。3学期も感染症対策を講じながら教育活動を実施し、できるだけ学級を閉鎖することなく学習の機会を保障していきたいと思っています。子ども達が元気に学校生活を送ることができるようご家庭でのご協力をお願いいたします。

- 1 バランスの良い食事、十分な睡眠、適度な運動を心がけてください。
- 2 熱がなくても風邪様の症状がある場合は無理をせず休養をとらせてください。
- 3 家庭内に患者がいても、本人が元気で症状がなければ登校できます。
- 4 マスクの着用は原則子どもに任せていますが、学級の感染状況によっては教室内ではマスクの着用を推奨する場合があります。常にマスクを持たせていただきたいと思います。（学級の感染状況によりますので、一律ではありません）

- ・しっかり食事
- ・たっぷり睡眠
- ・適度な運動
- ・手洗い
- ・症状があるときはマスク着用
- ・定期的な換気





- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

### そば打ち体験

1月23日(金)に、いずみ巣子在住で東屋さんにお勤めの立花清一様に指導していただき、6年生がそば打ち体験をしました。2学期に行う予定でしたが、インフルエンザの流行により延期していた6年生のPTA親子行事も兼ねた体験活動です。毎年そば畑を耕してくださっている南一本木自治会長の岩井雅之様と、唐箕を貸してくださった角掛利子様をお招きして打ったそばを味わう会食会も行いました。

はじめに立花様からそばの打ち方を教えていただきました。体育館改修工事のため、そば畑にはプレハブが建っていましたが、その関係もあり、今年はそばの収穫量があまり多くありませんでしたが、なんとか自分達が育て収穫したそば粉でそばづくりをすることができました。

まず、指でやさしくかき混ぜながら、そば粉全体に水がいきわたるように混ぜていきます。そば粉全体に水がいきわたったら、しっかり手の腹で練っていきます。ひびが入らないように柔らか過ぎず、かた過ぎないようにするのがポイントだそうです。その後麺棒で生地を薄く伸ばします。斜めに動かしながら四角形になるように伸ばしていきます。



十分に生地を伸ばしたら、麺切包丁で切っていきます。6年生は麺切包丁の使い方がとても上手で、グループで太さを揃えて上手に切ることができました。グループによってはお母さん方も麺切に挑戦しました。いつも食事をつくっているお母さん方でも、麺切は難しいとの感想をもたれていました。丁寧な作業でどのグループもとてもおいしそうな蕎麦が打ちあがりました。

さっそくゆでて、東屋さんのおいしいそばつゆでお蕎麦をいただきました。立花様が作ってきてくださった「そば豆腐」と「ばっけみそ」もいただきました。そばの実にも様々な調理のしかたがあることも学ぶことができました。



今年度の「そば博士になろう」の学習も、地域の方々のご協力により、学びの多い有意義な体験活動になりました。ご支援ご協力を感謝申し上げます。



## 学校保健委員会

1月22日（木）に学校保健委員会を開催しました。今年度から新たな試みとして中学校との合同開催としました。また保育園の山本園長先生にもご参加いただきました。一本木地区の園児・児童・生徒の健康課題は、保育園・小学校・中学校で共通する部分が多く、保・小・中連続した期間で考えていく必要があるという思いから、合同での開催としました。今後地域の方にも自由にご参加いただき、地域で園児・児童・生徒の健全育成を図っていくことができればと考えております。

当日は学校内科医の山口淑子先生、学校歯科医の小豆嶋章先生、学校薬剤師の戸来賢明先生、一本木保育園の山本園長先生、そしてPTA役員・理事の方々にご参加いただきました。お足元の悪い中、そして遅い時間にもかかわらずご参加いただきましたことに感謝申し上げます。

会ではまず、本校の後藤保健主事と中学校の菅原保健主事が、健康診断結果や保健指導の実際を紹介しました。そしてそこから明らかになった右記のような一本木地区の児童・生徒の健康課題について確認し、来年度の学校での取組をお伝えしました。

### 【一本木地区児童・生徒健康課題】

- 1 肥満傾向者の出現率が高い（特に小学校）
- 2 う歯のない人が少なく、受診率も低い
- 3 裸眼視力 1.0 未満が増加傾向にある

学校内科医の山口先生からは、大抵の人はスマホの使い過ぎはよくないことを分かっているが、小さい子は分かっていないので、親としてしっかり教えなければいけないこと、寝る時にスマホをふとん（ベッド）にもっていかせないこと、さらに、親は叱るために子どもの後ろに寄り添っているのではなく、助けるために子どもの後ろに寄り添っているのだというお話をいただきました。

学校歯科医の小豆嶋先生からは、歯のけがの対処として、欠けたり折れたりした歯は、生理食塩水もしくはコンタクトレンズの保存液や牛乳につけて病院に持ってくるとよいこと、そのようなものがない場合、頬と歯茎の間など、まるであめ玉のように口の中に保存して病院に持ってくるとよいことをアドバイスいただきました。また、学校薬剤師の戸来先生からは、スマホの安全な利用に関わって、秘匿性の高いアプリを用いた高額な報酬をうたった仕事の勧誘等、危険性の高いものがたくさんあり、若い世代が騙されないように、周りの大人がしっかりと見守る必要性があることについてお話しいただきました。

## 安全朝会

1月21日（水）に安全朝会を実施しました。当日はスクールガードリーダーの角掛利樹様と、一本木駐在所の山田篤志所長にお越しいただき、子ども達に冬道の安全についてお話しいただきました。寒さに加え積雪も多い週でしたので、体育館もすっかり冷え切っていましたが、子ども達はよい姿勢でお二人の話をしっかり聞いていました。

スクールガードリーダーの角掛利樹様は、毎日学校近くの交差点付近で、スクールガード犬のこまめ君と一緒に見守り活動をしてくださっています。角掛様からは、冬道は滑りやすく転倒することがあるので、帽子と手袋を着用すること、除雪した雪が山になっていて、みなさんからも車からもお互いが見えにくくなっているから、いつも以上に周りをよく見て気を付けること、そして冬道では車は急に止まることができないので、たとえ信号が青でも、車の動きをよく見て渡ることをお話しいただきました。



山田所長様からは、昨年は岩手県で交通事故がとても多く、死亡事故や人身事故も多かったこと、同じように盛岡市や滝沢市でもとても交通事故が多かったこと、そのために交通事故非常事態宣言が出されたことをお話していただきました。また、スクールガードの方々は毎日みなさんの登下校を見守っているの、その気持ちに伝えるためにも、スクールガードの方々にしっかりあいさつをしてほしいとお話していただきました。そのお話に1年生の坂本心望さんは、「気を付けることをしっかりやって、道路を渡りたい。」とお話しました。